

平成21年度 第3回研究企画委員会

議 事 録

1. 日 時:平成21年9月30日(水) 15:00 ~ 17:00
2. 場 所:日本応用地質学会 事務局会議室
3. 出席者:大塚委員長,長田副委員長,武田委員,濱田委員,中尾委員,天野委員,大野委員,中曽根委員(代理:照屋氏),笠委員,江口委員,(オブザーバー:渡辺先生)

4. 討議資料

- 平成21年度第2回研究企画委員会議事録(案)……………(21研企 資料)
- 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期) 第10回議事録(案) ……(21研企 資料 -1)
- 災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会 第9回議事録(案) ……(21研企 資料 -2)
- 地すべりの初生と評価に関する研究小委員会 第16回議事録(案) ……(21研企 資料 -3)
- 応用地形学研究小委員会(第三期)活動報告 ……(21研企 資料 -4)
- 応用地質学における地下水問題研究小委員会(第二期) 第10回議事録(案)…(21研企 資料 -5)
- 平成21年度第1回理事会および第2回総務委員会報告……………(21研企 資 -1)
- 平成21年度第2回事業企画委員会 議事録(案)……………(21研企 資 -2)
- 平成21年度第2回総務委員会 議事録(案)……………(21研企 資 -3)
- 平成21年度第1回理事会資料 議事録(案)……………(21研企 資 -4)
- 日本地球惑星科学連合 セッション関連資料……………(21研企 資 -1)
- 日本地球惑星科学連合 セッション関連資料(Green Geo-technology の提案)……………(20研企 資 -2)

5. 議 事

5 - 1 . 前回議事録の確認

案について承認した。

5 - 2 . 研究小委員会活動報告

(1) 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)…江口委員

【報告事項】

・第10回委員会(平成21年8月10日) の内容について、および研究小委員会での取り組みである技

術書作成の工程案についての報告。

・技術書の出版の方法と出版にかかる費用等について再度確認を行うこととした。

(2) 災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会・・・大野委員

【報告事項】

・第9回委員会(平成21年7月31日)の内容について、および平成21年度の活動内容についての報告。

・平成22年度に講習会を実施することを事業企画より打診されており、次回小委員会で実施についての議論を行うこととなっている。

(3) 地すべりの初生と評価に関する研究小委員会

【報告事項】

・第16回委員会(平成21年8月5日)の内容について、および平成22年度シンポジウム発表内容についての報告。

【審議事項】

・平成22年度シンポジウムの発表内容について、事業企画と調整し、次回小委員会までに報告する。

・発表事例については、公表可能なものであるかを確認する。

(4) 応用地形学研究小委員会(第三期)・・・照屋氏

【報告事項】

・第10回委員会(平成21年9月17日)の内容についての報告。

・研究小委員会の内規について小委員会内で議論を行い、「小委員会」の呼称を「委員会」に改めるべきではないかとの意見が挙げられた。

【審議事項】

・研究企画委員会の内規における小委員会の呼称については、常置委員会との区別をつけるため「小委員会」と呼称しているため、「委員会」に改めるべきではないとの意見が挙げられた。

(5) 応用地質学における地下水問題研究小委員会(第二期)・・・長田副委員長

【報告事項】

・第13回委員会(平成21年7月22日)の内容についての報告。

・WG2の成果発表について、現地研修会の開催が検討されていたが、運営や内容の面を考慮し、実施が困難と判断された。

【審議事項】

・WG2の成果発表については、今年度報告書を作成し、それを元にH22年度に講習会を実施することで検討することとした。

5 - 3 . 常置委員会・理事会報告

(1) 理事会報告・・・長田副委員長

・平成21年度第1回理事会(平成21年9月18日開催)の内容についての報告。

・9月1日に一般社団法人として認可された。

・法人化に伴い、研究企画委員会の内規を作成する必要があるとのことであった。当面は総務委員会が内規のひな形を作成し、それを参考に作成することとした。

・地球惑星科学連合大会において、応用地質学会から新セッションの立ち上げを行うこととなり、その企画を研究企画委員会が行うこととなった。

(2) 総務委員会・・・長田副委員長

・平成21年度第2回委員会(平成21年9月17日開催)の内容についての報告。

(3) 事業企画委員会・・・中尾委員

・平成21年度第2回委員会(平成21年7月31日開催)の内容についての報告。

・7月25日に行われた現場研修会(那須野原扇状地)についての報告。

5 - 4 . 地球惑星科学連合大会新セッションの立ち上げについて

理事会で議論のあった地球惑星科学連合大会の新セッションの立ち上げについて、千木良先生が「地質ハザード」を題材としたセッションを立ち上げるのとは別に、研究企画委員会で「環境地質」を題材としたセッションを立ち上げることとし、その内容について提案者の埼玉大学渡辺先生を交え議論を行った。内容は以下の通り。

・地球惑星科学連合大会を通じて応用地質学が地球に優しい学問であるということを発信するため、Green Geo-technology の概念を提案し、その中でテーマを「炭酸ガス排出の少ない地球素材の積極利用研究」と「CCS、廃棄物の長期安定処分」の二本立てで考える。

・「炭酸ガス排出の少ない地球素材の積極利用研究」は、製造過程および建築過程で炭酸ガス排出の少ない、土や砂利等を用いた締め固めなどの伝統的な工法で行われるものであり、材料面や施工面で応用地質学的研究として実施できそうである。

・関連しそうな学会に参加を呼びかけ、連合して開催する。

・セッションの具体的な内容と立ち上げ時期等について、研企委での議論をもとに長田副委員長が整理する。

5 - 5 . その他

・次回委員会開催日は、11月16日(月)15:00より学会事務局にて開催する。

以 上